

事業所紹介

職場やスタッフの紹介記事を2回に分けて掲載します。今回は特別養護老人ホームの10ユニット(1ユニット10名、計100名)とショートステイの2ユニット(1ユニット10名、計20名)の紹介です。「寄り添い、その人らしい暮らしを支え合う」を合言葉に、利用者の皆様に親しまれ、愛される施設をめざしてガンバっています。引き続きご支援をお願いします

特別養護老人ホーム きはだの郷

如月
二月

月に1度はおやつレクリエーションや喫茶タテツジという看板名で、ハンドドリッブで珈琲を淹れてスイーツをお出する企画もさせていただいています。今後も皆様のお力をお借りして素敵なユニットにしていきたいと思っております。宜しくお願いします。



立辻一剛リーダー



介護スタッフ:(左より)森謙一、立辻リーダー、辻井幸代、伊地知麻衣



梅美台の+Marsh Mallow(マシュマロウ)さんのケーキを購入して、喫茶タテツジで珈琲と一緒に提供しました。

睦月
一月



中西広貴リーダー

睦月ユニットでは「向上心」を忘れない事を常に心掛け、利用者様のケア、業務に取り組んでいます。職員一人一人が、意見を出して話し合いが出来る環境を作り、より良いチームでのケアが出来るよう取り組んでいます。利用者様の過ごし方としては、出来る限り本人様の意思が尊重出来るよう配慮し、自由に過ごして頂ける様に心がけています。



介護スタッフ:(前列左より)小松理恵、姫野悦子、(後列左より)丹羽副主任、岩本拓郎、西山雄大、中西リーダー

おやつレクで、パンケーキとりんごのコンポートを作った時の写真です。



今崎直樹リーダー

卯月ユニットについて、入居者の皆様は、ADLが高い方が多く、自分の事を自分でされる方が多いです。その為、職員は介護をおこなうにあたり、入居者の方々には出来る事に関しては出来る限り、自身でおこなってもらい、入居者の方の意見を尊重した環境作りをおこなっています。

卯月
四月



介護スタッフ:(左より)木村しのぶ、松尾みどり、今崎リーダー、丹羽副主任、松浦剛、増田悠輔



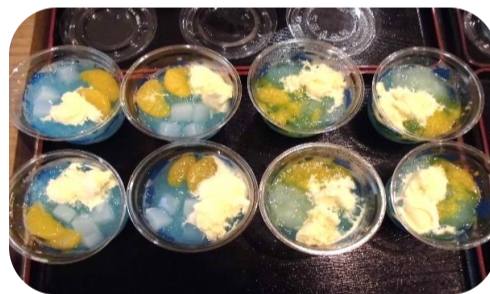
写真は、おやつ(フルーチェ)を入居者と一緒に作り、天気の良い為、外で食べた時の写真です。

弥生
三月

当弥生町では、施設の理念『寄り添い、その人らしい暮らしを支え合う』を大前提とし、人格・人権・自立を尊重し、入居者様一人一人と向き合い、その方の望んだケアを・その方に合ったケアを実現出来る様、ご本人様の自己決定を重視します。またご家族様のご要望もお伺いしながら、職員一同一丸となって、よりよいケアを目指し、利他の心で温もりのある介護を目指し日々ケアに取り組んでおります。



尾崎浩之リーダー



7月の七夕の日、短冊に願い事を書きました。またおやつの時間には皆で七夕ゼリーを作り食べました



介護スタッフ:(前列左より)新山詩織、津野未来、中塚菜奈(後列左より)丹羽副主任、尾崎リーダー

水無月ユニットは、各入居者様に合わせたケアを行える様に、日頃から職員間での情報共有や意見交換を積極的に行う様に心掛けています。また、ユニット内を家庭的な雰囲気にならせようと、畳スペースを和室の雰囲気が出る空間作りにして、入居者様にくつろいで頂ける様にしました。春頃からは、観葉植物も配置しています。



末谷哲郎リーダー

皐月
五月



松尾晃太リーダー

皐月ユニットは、“入居者一人ひとりがその人らしく自由に生活できるように”をコンセプトに今年の1月頃より、環境構成の見直し、入居者一人ひとりに合った支援(排泄)の見直し、生活リズムの見直し等を行ってきました。今後の目標としては、“職員主体(職員の価値観)”でなく、入居者自身による生活全般の決定が行えるよう、一人ひとりに応じた支援を行っていきます。



普段(少数毎の座席配置)とは異なり、全員で団楽をもって時間を過ごせるよう、工夫を行っています。



介護スタッフ:(左から)北原知世、奥田美咲、中村幹夫

水無月
六月



外出行事で、般若寺にコスモスを見に行った時の写真です。皆様、笑顔で良い表情をされています。